

当院において子宮頸癌術後に放射線治療を受けられた方およびその ご家族の方へ

—「子宮頸癌術後照射の治療成績」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 陽子線治療学講座 吉尾浩太郎

1) 研究の背景および目的

子宮頸癌の手術の後に、補助的な治療としての放射線治療を行う場合があります。この治療の目的は、病気の再発を防いだり、元の位置から離れたところで病気が大きくなる可能性を下げたりすることが挙げられます。日本ではどのくらい再発する可能性があるのかを分類しており、その分類に従って放射線治療を勧めています。岡山大学病院も同じく、その分類に従って放射線治療をするかどうか判断しています。

本研究では2011年1月～2020年12月に岡山大学病院で子宮頸癌の手術の後に、放射線治療を開始した方々を研究対象としています。この研究で、実際にどのくらい再発を予防できるのか等の治療の効果（予後）を調査して、良い治療のためには何が必要なのか（予後因子）を明らかとすることを目的としています。

2) 研究対象者

2011年1月～2020年12月の間に岡山大学病院放射線科において子宮頸癌の術後に放射線治療を受けられた方67名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2025年12月末日

4) 研究方法

当院において子宮頸癌の術後に放射線治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療成績および予後因子について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、手術日、術式、放射線療法開始日、放射線治療の内容
- ・手術によって得られた病変からの情報（病理所見）
- ・血液検査結果や画像検査結果
- ・治療効果（再発の有無など）

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存さ

させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究の実施に際し、特定の研究資金は用いません。

また、この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

私たちはこの研究によって特許を得る可能性があります。ただし、その権利は岡山大学に帰属します。研究対象者の方には帰属しません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

所属：岡山大学病院 放射線科

氏名：岡部 将仁

連絡先電話番号：086-235-7313（平日9時～17時）